

ハーモニ



(第24号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会
 電話：22-2212 FAX：22-3910 メール：kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

「女性の視点を取り入れたまちづくり」セミナー

～セミナー企画と参加者募集予告～

男女共同参画の視点で地域課題を話し合う「女性の視点を取り入れたまちづくり」セミナーの開催を企画しています。NPO活動や男女共同参画施策研究の第一人者、日誌教授の講演を聞いた後、3つのテーマについて、みなさんと気楽に話し合う場となります。

【日 時】 平成23年 11月26日(土) 10:00～15:30

【会 場】 道の駅開国下田みなと(ベイステージ) 会議室1～3

【内 容】

日 程	内 容
第1部 (10:00～11:30)	基調講演【講師：日誌一幸静岡大学教授】 ◇テーマ「女性の視点を取り入れたまちづくり」
第2部 (12:30～14:00)	分科会 ◇第1分科会【講師：小林恵子さん(株)ふじやまママ代表取締役】 テーマ「子育てしやすいまちづくり」 ◇第2分科会【講師：都甲豊子さん(いとう市民活動支援センターPAL事務局長)】 テーマ「子育て世代と高齢者のふれあいができるまちづくり」 ◇第3分科会【講師：野村諒子さん(三島市議会議員)】 テーマ「女性の政治・社会参画がしやすいまちづくり」
第3部 (14:10～15:30)	分科会報告・総括

【定 員】50名 【参加費】無料 【申込受付開始】平成23年10月28日(金)～

【申込方法】下田市役所企画財政課あて、電話、FAX、E-mailでの申し込み受付
 (住所・氏名・電話番号・年齢・分科会の希望・託児の有無・お弁当の希望を確認させていただきます。)

【申 込 先】下田市役所 企画財政課 企画調整業務担当
 ◎電話：0558-22-2212 ◎FAX：0558-22-3910
 ◎E-mail:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

【主 催】静岡県・下田市

特集「私の子育て体験から思うこと」その1

ハーモニーでは、以前に第19号から3回にわたって、市内にお住まいの方から子育てについて御意見をいただき、特集記事「子育て環境に思うこと、望むこと」を掲載してまいりました。

今回から、新規特集「私の子育て体験から思うこと」がスタートいたします。下田市以外で子育て経験をされた方からお話を伺い、下田市の子育て環境と対比させることによって、今後の取組みの参考とさせていただくこととしましたので、御期待ください。



下市内にお住まいの、50歳代の女性の方から、ご自身の子育て体験について語っていただきました。

札幌での子育てをほぼ終えて、17年前に転勤で下田に来ました。札幌は人口も多く、子どもの数も多かったので、児童館などの施設が充実していました。

我が家と学校のちょうど真ん中に児童館があり、学童保育が行なわれ、小学校6年生までの子ども達が、学校帰りに立ち寄って、勉強したり遊んだり、夕方5時頃まで過ごしていました。また、ひよこサロンのような未就園児の会が週3回あり、入学前の子どもの習い事ができるクラブなどもありました。

その当時は、子どもの数が多かったのでしょうか。保育園は人手が足らず、先生方はとても大変そうでした。今、孫が下田の保育園に通っていますが、ひとりひとりの子どもに余裕をもって接していただく様子がとてもうれしく感じられます。

今、私は孫育て中ですが、下田の子育てにかかわるボランティア団体やサークル等が、以前より増えているようで何か元気がでます。

下田市社会福祉協議会主催の「子育てボランティア養成講座」を受講していますが、この講座を修了したら、何か社会に役立つことをしたいと思っております。一時間でもいいので、保育園にお手伝いに行くとか、大学生や仕事をリタイヤした方達と子ども達に勉強を教える機会を持つとか、高齢者施設も増えているようですので、高齢者とふれあいの時間を持つなど…あったらいいな、できたらいいなと思います。もっともっと活力のある下田にするため、少しでも社会に貢献できたらと思います。



【コメント】

下田市に児童館はありませんが、放課後児童クラブ2箇所の開設、また民間での「遊 viva! ネットワーク」や「ひよこサロン」の取り組みなど、それに代わる活動が行なわれております。子育てボランティア養成講座修了者は、さまざまな子育て支援の場で活躍中です。

～ 先進事例紹介 ～

<「ひと・学び支援センター熊本」による、高齢化が進む地域での生活支援活動>

出典:「地域の活力と魅力を生み出す男女共同参画活動事例集」より
(内閣府 男女共同参画局編集)

高齢者の生活支援について、下田市内では、平成5年6月に発足した「下田市女性の会」により、高齢者と地域の人たちと交流する場「ふれあいサロン・食事会」の開催や、市内の介護老人福祉施設への訪問・慰労活動など積極的な取組みが行なわれております。

今回は、よりよい高齢者支援の取組みを形作っていくための事例として、廃校を利用した拠点施設で高齢者の生活支援活動を実践している、熊本県天草市「ひと・学び支援センター熊本」の活動を紹介します。

↓「南風ん風」地域交流集会の様子



熊本県天草市は、人口 91,546 人 (H23.8 月末)、面積 683.07 平方キロ、熊本県内の 2 市 8 町が合併して、平成 18 年 3 月に誕生しました。

「ひと・学び支援センター熊本」は、天草市に働きかけ、国の地域再生計画の認定を受けて、市内牛深地区で廃校を改修した多機能型複合施設「南風ん風」(はえんかぜ)を開設し、その運営を行なっています。

活動のきっかけ

九州・島原半島の下島(しもしま)に位置する天草市牛深地区(旧牛深市)は、過疎化とそれに伴う高齢化が進む中、急激に活気を失っていきました。地区の住民が安心できる島の暮らしを実現するために、「ひと・学び支援センター熊本」は、活動拠点を熊本市からこの地区に移し、高齢者生活支援を通じた男女共同参画活動に取り組みました。

活動の内容：多機能型複合施設「南風ん風」(はえんかぜ)で島の暮らしを支援

多機能型複合施設「南風ん風」(はえんかぜ)は、廃校を利用した3階建の施設。

誰もが住み慣れた地域で、これまでどおりに過ごせる地域づくりを行なう方々の、自発的で主体的な様々な活動を応援する拠点施設です。

この施設は、1階を高齢者施設、2階を生きがいや交流の拠点、3階を高齢者の生活支援の場として活用しています。2階では、週1回のパソコン教室や親子交流の場としての絵本ギャラリーが開催され、3階では、女性・高齢者が担い手となるコミュニティレストラン「潮深」(うしおぶか)が運営されています。

注目すべき男女共同参画の視点(男女の差を越えた地域の信頼関係を育てる取組み)

◎男女を超えた地域の信頼関係がつくられている。

施設では、地域から様々な相談を受けるようになり、高齢の男性から「おなご、子どもに相談できるようになった」と言われ、男尊女卑の考え方が残っているまちで、地域の信頼関係ができたことを確信しました。女性だけでなく男性も楽になるにはどうしたらよいか考えることが、男女共同参画であるといえます。

「下田市女性の会」による、男女共同参画社会の実現を目指す取組み
「エンパワメント」研修会を紹介します。

「エンパワメント」(empowerment)とは、英語で「力をつけること」を意味する言葉です。男女共同参画の分野では、「女性の能力の開発と発揮、又は女性が政治・経済・社会・家庭などあらゆる領域で、自分で意思決定し、行動できる実力をつけようとする」概念を表します。

10月1日(土)、道の駅「開国下田みなと」で、元日本航空客室乗務員 支倉 真理子(はせくら まりこ)さんを講師としてお招きし、「下田市女性の会」主催による「エンパワメント研修会」が開催され、女性の会メンバーや一般市民の方30名が参加しました。

研修会参加者(下田市女性の会役員)野田さんから、当日の様子をまとめていただきました。

【講師略歴】

福島県出身。大手銀行に就職するものの、スチュワーデスになりたい夢を捨てきれず日本航空へ入社。国際線中心の勤務となり、政府専用機乗務員として、政府要人の外遊に同行するなど活躍。

平成22年退社。退社後は、講演活動を重ねている。



○支倉さん(写真中央)の講演要旨

スチュワーデスになりたいという「夢」を、自分の努力で実現できました。一人の女性として、職業人として「結婚しても仕事は続けたい」という願いを持ち続けました。結婚し子育てに追われながら、退職するまで第一線で頑張ることができました。自分を支えてくれたものは、夢をもち続けたこと、強い意志があったこと、家族が支えてくれたこと、そしてなによりも「男女共同参画社会実現に向かう社会の変化」があったことだと思っています。

女性には、言葉遣いが丁寧で、謙虚にふるまうという美点があると思います。男女共同参画社会では、このような美点は男性にも求められると思います。

【参加者(市内在住者・60代女性)の感想】

日々の生活の中で努力し続けることがいかに大変か、いつも反省しています。歩く姿勢が余りよくないので、娘に注意される私にとって、高いハイヒールで颯爽と歩く講師のお姿は目映いばかりでした。美しい立ち居振る舞いや椅子の座り方など、暮らしに役立つことを学び、背中をまっすぐ伸ばして、前向きに生きていくことが大切だと教わりました。

※男女共同参画情報紙「ハーモニー」への御意見、御感想を募集しております。

下田市役所企画財政課企画調整業務担当まで御連絡ください。

電話:0558-22-2212 FAX:0558-22-3910 E-mail:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp